

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.47 橋梁対策事業			担当課	道路交通課			予算費目名	款 8	項 2	目 2	
事業概要 及び目的	橋梁の耐震対策、長寿命化対策の実施により、災害発生時の橋梁事故防止を図り、通行者の安全で快適な道路の確保及び緊急災害時の通行経路を確保する。			成果 目標	成果指標	改修等が必要な橋梁数		年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
					計画値	19 橋		予算額 (単位: 円)	66,094,550	53,300,000	113,000,000	93,500,000
								決算額 (単位: 円)	64,996,050	51,186,300	600,000	
								従事職員数	1	1	2	
事業の 位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 橋梁の耐震・補強・補修整備により、安全な道路網整備が推進される。			従事延べ日数	65	60	65		
	節	3	快適な生活環境の創造				民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし				
	項	1	都市基盤の整備・充実					相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等				
号	1	道路網整備の推進	形態は? :									

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 21 日記入					平成 22 年 5 月 25 日記入					平成 23 年 4 月 18 日記入
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・鷲沼中央跨線橋耐震補強工事 (市施工分)			鷲沼中央跨線橋は平成 22 年度までの 3 ヶ年 事業で耐震補強工事を 予定しており、跨線部 については、鉄道事業者 に工事を委託し施工予定。	・鷲沼中央跨線橋耐震補強工事 (京成電鉄施工)			・跨線部については、 各鉄道事業者 に工事を委託しているため。 ・H22 年度に、計画 策定のための橋梁点 検を実施予定として いる。	・			・工事費用の増加が 見込まれることが判 明したため、平成 2 4 年度までの継続費 とした。		
継続している 事項	・鷲沼中央跨線橋耐震補強工事 (鉄道事業者施工分)				・鷲沼中央跨線橋耐震補強工事 (JR 東日本施工)				・				・鷲沼中央跨線橋耐震補強工事 (JR 東日本)	
未着手事項	・				・橋梁の長寿命化修繕計画策定				・					・橋梁の長寿命化修繕計画策定 (点検業務)
改善案	成果指標 実績値 達成率 0 橋 0%			成果指標 実績値 達成率 0 橋 0%			当初見込まれた予算の範囲を超えることが判明したため、議会及び関連事業者との調整を行う。			成果指標 実績値 達成率 0 橋 0%				

3. 今後の方向性

		※課内協議を経て管理職が記入してください。平成 21 年 7 月 22 日協議実施				平成 22 年 5 月 26 日協議実施				平成 23 年 4 月 18 日協議実施					
今後の方向性	成果の方向性	拡充	○			成果の方向性	拡充	○			成果の方向性	拡充			
	現状維持					現状維持					現状維持		○		
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	縮小					縮小					縮小				
	休廃止					休廃止					休廃止				
		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充
	★上記を選択した根拠 鷲沼中央跨線橋の他、市管理の橋梁は今後、橋梁点検、長寿命化計画策定、補修工事を予定しており、コストを抑えつつ橋梁の安全性を確保していく必要がある。					★上記を選択した根拠 JR 総武線の跨線部については、現場条件の制約により期間延伸、費用増額が見込まれるが、橋梁の安全な通行確保を最優先に事業を進めなければならない。					★上記を選択した根拠 工事費に大幅な変更が生じたことにより、事業の進捗上、成果を上げるに至っていない。当該事業の性格上、速やかに橋梁の安全を確保する必要がある。				
方向性を実現するため実施すること (改革案)	長寿命化計画策定に向け、点検・調査業務実施のための財源を確保し、予算措置を図る。					JR 東日本との調整を図り、円滑な事業推進を図る。					議会及び関係事業者等と、速やかに調整を図りながら、事業推進を行う。				
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 ■検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。長寿命化計画に基づく橋梁対策事業推進のため、財源について千葉県と調整中。					■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。					□実施 ■一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。跨線橋耐震補強工事については、当該年度中の着工が困難であったが、引き続き協議、調整を図り事業計画を遂行する。				